

研究課題:遺児と保護者へのナラティブをベースとしたグリーフケアプログラムの実証的効果測定

果測定

研究課題/領域番号：22K03134

研究種目：基盤研究(C)

研究代表者：倉西 宏 京都文教大学，臨床心理学部，准教授

(概要)

本研究は、親を亡くした子ども（遺児）とその保護者へのグループによるグリーフケアプログラムの実証的効果測定を行うものである。内容は以下の2つを柱とする。

1. 小学生遺児を対象としたグリーフケアプログラムを実施し、その心理的变化を分析する。必要に応じて日本最大の遺児支援団体である「あしなが育英会」と連携を行う。

2. 遺児へのプログラムと並行して、その遺児の保護者（つまり配偶者との死別遺族）へのグリーフケアプログラムを実施し、遺児の変化との連動性も含めて効果測定を行う。効果測定は、悲嘆、PTSD 症状、さらに人格変化または人間的成長について行う。さらに遺児については、上記に加えて保護者からの行動面に関する観察報告からも評価を行う。プログラムは保護者にはナラティブをベースとした言語的表現と芸術療法的表現を、遺児に対しては遊びを中心としたグループセラピーを行い、それぞれ個別面接も織り交ぜて行う。